安威川ダム　第７２回岩盤判定会議　議事要旨

日　　時：令和元年９月２７日（金）　１４：００～１６：００
場　　所：安威川ダムJV事務所　会議室
出 席 者：別紙「出席者一覧」のとおり
資　　料：第７２回 岩盤判定会議資料 (別冊資料含む)
検査対象：＜地盤検査＞
　非常用洪水吐き 導流部：非 No.-１+9.5～非 No.0+12.5（監査廊 底盤部及び壁面部）

主な指摘事項（地盤検査の記録に掲載するもの）

- No.19+8 監査廊下流側壁面部低標高部に分布する断層沿の岩盤がＣＬｈ級と評価されているが風化が進んでいる部分はＤ級岩盤と評価を改めること。また、コンクリート吹付前に掘削除去すること。
- 監査廊底版部（L-14とL-15ブロック付近）において、F-12断層沿いに薄く付着した粘土が残っていたためVカット上に掘削除去した上で、置換コンクリートを施工すること。
- 非No.0+6～8、CL-18～20付近は亀裂上に薄く浮石が確認されたため、コンクリート吹付前に掘削除去すること。
- 監査廊上流側壁面部低標高部（L18 ブロック、No.19+10～12 付近）の F-12 断層部については、乾燥してひび割れが発生していた。ひび割れが発生している粘土部は除去すること。

概　　要

〇前回議事要旨および是正報告資料に関する指摘事項
特になし。

〇資料に関する指摘事項
- No.19+8 監査廊下流側壁面部低標高部に分布する断層沿の岩盤がＣＬｈ級と評価されているが風化が進んでいる部分はＤ級岩盤と評価を改めること。また、コンクリート吹付前に掘削除去すること。

〇現場における指摘・是正事項
- 監査廊底版部（L-14とL-15ブロック付近）においてF-12断層沿いに薄く付着した粘土が残っていたためVカット上に掘削除去した上で、置換コンクリートを施工すること。
- 非No.0+6～8、CL-18～20付近は亀裂上に薄く浮石が確認されたため、コンクリート吹付前に除去すること。
- 監査廊上流側壁面部低標高部（L18 ブロック、No.19+10～12 付近）の F-12 断層部については、乾燥してひび割れが発生していた。ひび割れが発生している粘土部は除去すること。

〇その他の意見

・監査廊のジョイント部に半割り管を設置するなど監査廊の上に施工される洪水吐き部のコンクリートにクラックが生じないよう対策を行うこと。
・非No.-1+10、CL+15付近のアプライト部の岩盤が緩んでいる。掘削除去時に打設済のコンクリート（第７１回岩盤判定会議実施箇所）がオーバーハングとならないよう注意すること。

＜地盤検査官のコメント＞

前回の指摘事項については、写真等により是正状況の確認ができた。

ただし、是正事項で現場工程上未着手の案件（非 No.-1-16、CL+14（F-13 断層の山側）付近および、非 No.0-17、CL+18（F-11 と F-12 の合流点）付近において、小規模な崩落に伴い施工済みの吹付コンクリートが浮いた状態）があるので、対応次第報告すること。

また、本日検査した非常用洪水吐き導流部については CLl 級岩盤以上を、監査廊底盤部・壁面部については、CLh 級岩盤以上をそれぞれ確認した。監査廊壁面部において表面風化が早い部分については、吹付コンクリート施工前に浮石の除去を行うなど丁寧な施工をお願いする。

以上